

# 主要施策の方向性 — 選択と集中による施策の重点化

## 基本目標の実現に向けて

第2次改定の基本目標である「人間のあすへのまち」を実現するためには、さまざまな施策を効率的・効果的に推進していくことが必要です。一方、持続可能な自治体経営を推進していくためには、施策の必要性や優先度を見極め、選択と集中による事業展開を図ることが不可欠です。

## 施策の重点化

第2次改定では、基本構想が掲げる「自治体経営の基本的な考え方」をすべての施策に通じる基礎とし、特に優先して取り組むべき施策の方向性を「施策推進の理念」とします。その上で、この理念に基づく事業展開の指針を「施策の柱」とし、施策の重点化を図ります。

### 施策の柱① 都市再生

高度経済成長期に整備した都市基盤・施設の多くが短期間に更新時期を迎える中で、建物の耐震化をはじめとした都市の持続可能性を高める都市再生の重要度は、一層高まっています。それと同時に、将来確実に訪れる人口減少時代を見据え、地域特性を生かした適切な都市計画手法などを活用した都市空間を整備していく必要があります。



三鷹中央学園 市立第三小学校

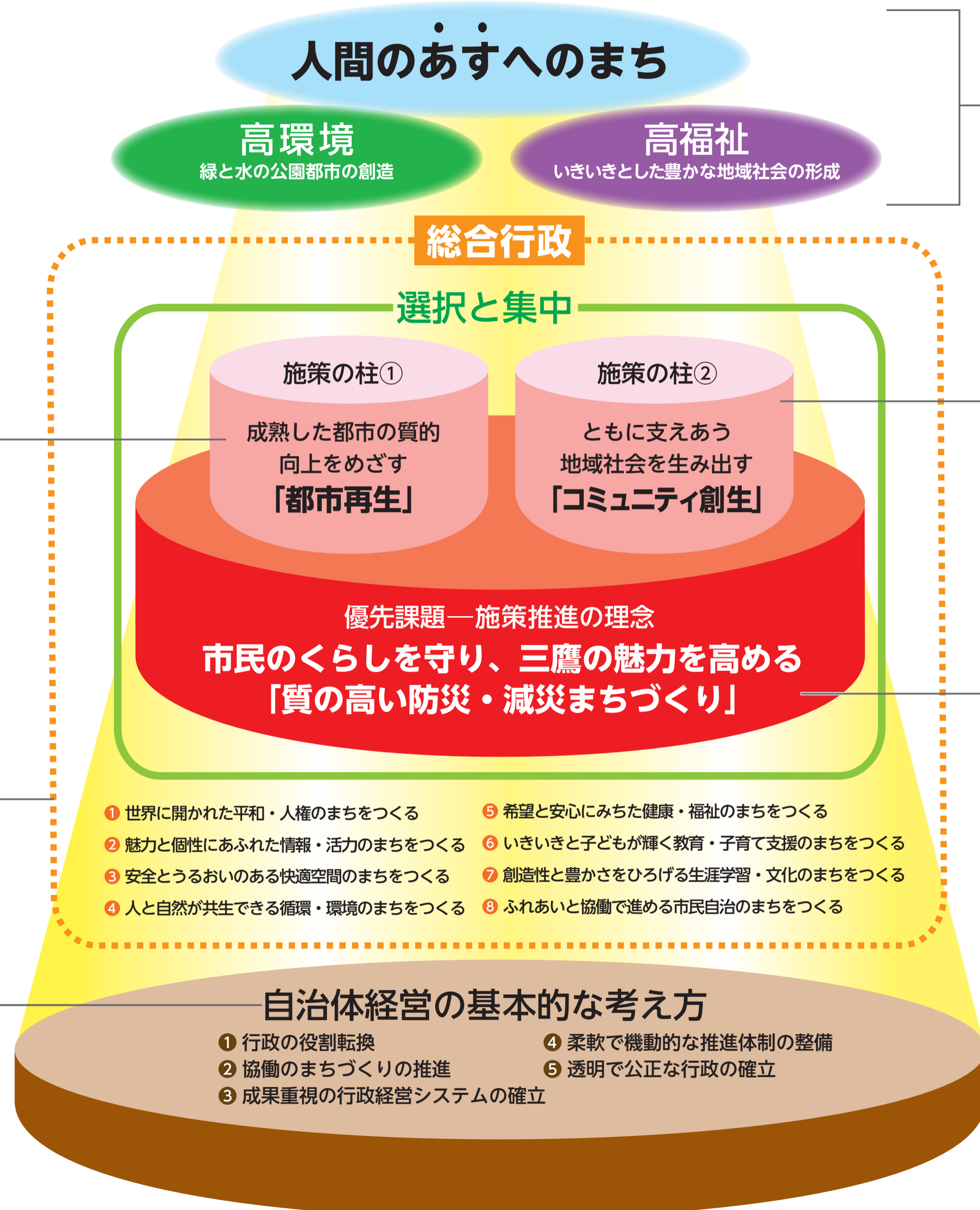
### 総合行政

基本構想では、「高環境・高福祉のまちづくり」は、8つの「まちをつくる」(=施策)を総合的に取り組むことにより推進されるとしています。なお、この8つの「まちをつくる」は基本計画の各論(2面～5面参照)として記述されています。

### 自治体経営の基本的な考え方

「防災・減災」の視点を基礎に、都市計画手法を活用し、未来のまちづくりの姿を具現化できるよう、戦略的なまちづくりを展開します。三鷹のまちの魅力向上や新たな価値を生み出し、質の高い行政サービスの提供と創造的で持続可能な自治体経営を推進します。SDGs\*の理念を理解し、未来に向けたまちづくりを進めます。

\*SDGs:持続可能な世界を実現するため、国連サミットで採択された、平成28年(2016年)から令和12年(2030年)までの15年間で達成するために掲げた国際目標のこと。経済・社会・環境など広範囲な課題に関わる17のゴール・169のターゲットから構成されている。



### 基本目標

この計画の基本目標は、「平和の希求」「人権の尊重」「自治の実現」を基調とした「人間のあすへのまち」の実現です。「人間のあすへのまち」は、「防災・減災」の視点を基礎とした「高環境・高福祉のまちづくり」によって実現されるとしています。



井の頭公園

### 施策の柱② コミュニティ創生

少子高齢化や核家族世帯・単身世帯の増加が急速に進む中で、ともに支え合う地域社会の重要性が高まっています。また、コミュニティ活動の担い手不足が課題となっている中、コミュニティ創生の次なるステップに向けた取り組みが重要になっています。



地域ケアネットワークにおける活動風景

### 優先課題～施策推進の理念～

度重なる震災や異常気象により市民の防災意識が高まる中、地域全体で取り組む防災・減災のまちづくりが喫緊の課題となっています。一方で、防災・減災のまちづくりは施設の整備だけを意味するものではなく、環境への配慮や市民同士のつながりなど多様な視点をもって進めていかなくてはなりません。防災・減災をこうした視点も含めて検討し、まちづくりを推進していくことは、市の魅力向上にもつながります。

### 三鷹市基本構想とは

総合的、計画的に市政運営を行うため、おおむね2023年度(令和5年度)を目標年次とし、市の最上位計画として定めたもの。基本計画の基本目標は基本構想と同一であり、基本計画は基本構想の実現を図るために策定している指針となる計画。